

7.

京都 洛北 春 Walk 2012.4.13.

静寂な円通寺の庭園へ行きたくって 深泥池から円通寺へ歩きました



天然記念物の水生植物群 深泥池(上段)と比叡山を借景とした静寂の枯山水の庭 円通寺 2012. 4. 13.

桜満開でにぎわう京都。一日桜見物に歩いた次の日 喧騒を離れ、ゆっくりと緑の中を歩きたくなって、

上賀茂深泥池から岩倉円通寺へ歩きました。

昨日 高野川越しに上賀茂の山をみて、水生植物群の深泥池からふと山の北側にある円通寺の横を抜けてゆく静かな洛北の街道 鞍馬街道を思い浮かべたのが発端。

岩倉の里の開発が進んだ今 隠れ里岩倉幡枝の里にある円通寺はどうなっているのだろうか……。静寂の中の枯山水の庭の縁に座って眺める借景の比叡山 そして 深泥池界限にも興味がある。時間の空いている午前中 円通寺に座って比叡山を見ようと。



高野川から眺める上賀茂の山々 山の裏が岩倉 今はベッタウンである

昔は雑草が生い茂る泥池だった深泥池も住宅地に囲まれたきれいな池に整備され、その縁を鞍馬街道の新道が深泥池の集落に入らずに岩倉へ向かい、傍らには桜満開の水辺の公園も。山を越えると岩倉幡枝の集落。

今はきれいに整備された住宅が立ち並ぶ住宅地。かつての集落はどこだったのか……。と。

円通寺のある幡枝の集落はこの新道より少し西に入った山際の静かなところ。今もひっそり ほっとしました。

振り返ると山裾を両側に広げた美しい比叡山。 この景色は前と変わらない。



南側から深泥池 全景 2012.4.13.



西北側 鞍馬街道新道からの深泥池 浮島外周部 2012.4.13.

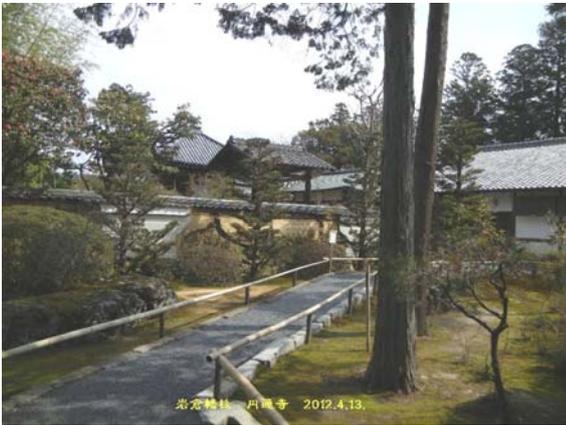
深泥池 南側より

深泥池 北側の浮島外周より

新しく整備された円通寺の山門をくぐって寺の中へ。静寂の中 作業をされていた住職さんに声をかけて 本堂に上がって 円通寺の庭へ。樹木に囲まれ、苔むした枯山水の庭。正面の大きな樹木越しに比叡山が薄く見える。 風の音と時折鳥の音がきこえるのみ 昔と変わらぬ静寂の中 懐かしい景色が独り占めでした。

柱にもたれて 庭をながめていると ゆったりと静かな声で円通寺の解説テープが流れてくる。ゆったりとした空間の中で聞く円通寺の成り立ち。なにか心地よい。 寺の解説 心地よいと感じるなんて なかったなあ・・・・・・と。

ついでに この比叡山の姿「都の富士」というのだそうだ。 京都では西に愛宕 東に比叡とはよく言うが、都の富士の呼び名をはじめて聞きましたが、ここで見る比叡山の姿はやっぱり 美しい。



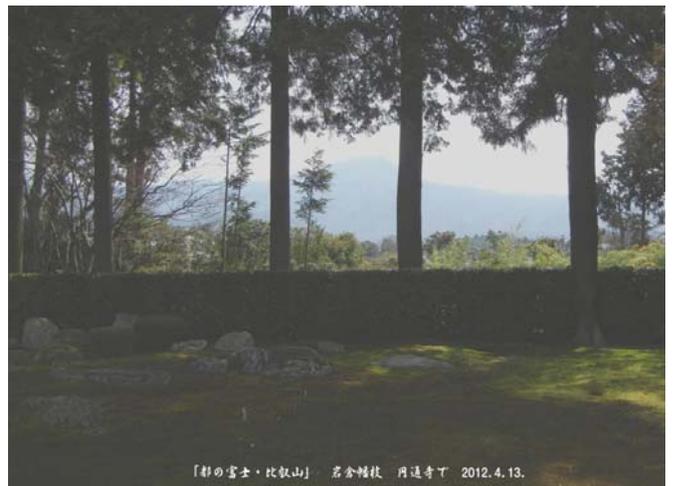
園通寺と枯山水の庭園から見る比叡山



約 1 時間ほど円通寺にいて、帰りは円通寺の直ぐ西側を通る鞍馬街道の旧道を通って、深泥池の集落を抜けて帰ってきました。 午前中 約 3 時間ちょっとの洛北散歩 かつてのイメージがそのまま残っていた円通寺の庭と比叡に出会えました。

まだ残る京の田舎 Walk。記すより映像とスライド動画にまとめました。

園通寺の庭と都の富士 そして何の変哲もない深泥池 皆さんにいかが映るでしょうか・・・・



岩倉幡枝の集落から峠を越えて深泥池の集落を抜けて続く旧鞍馬街道 2012. 4. 13.

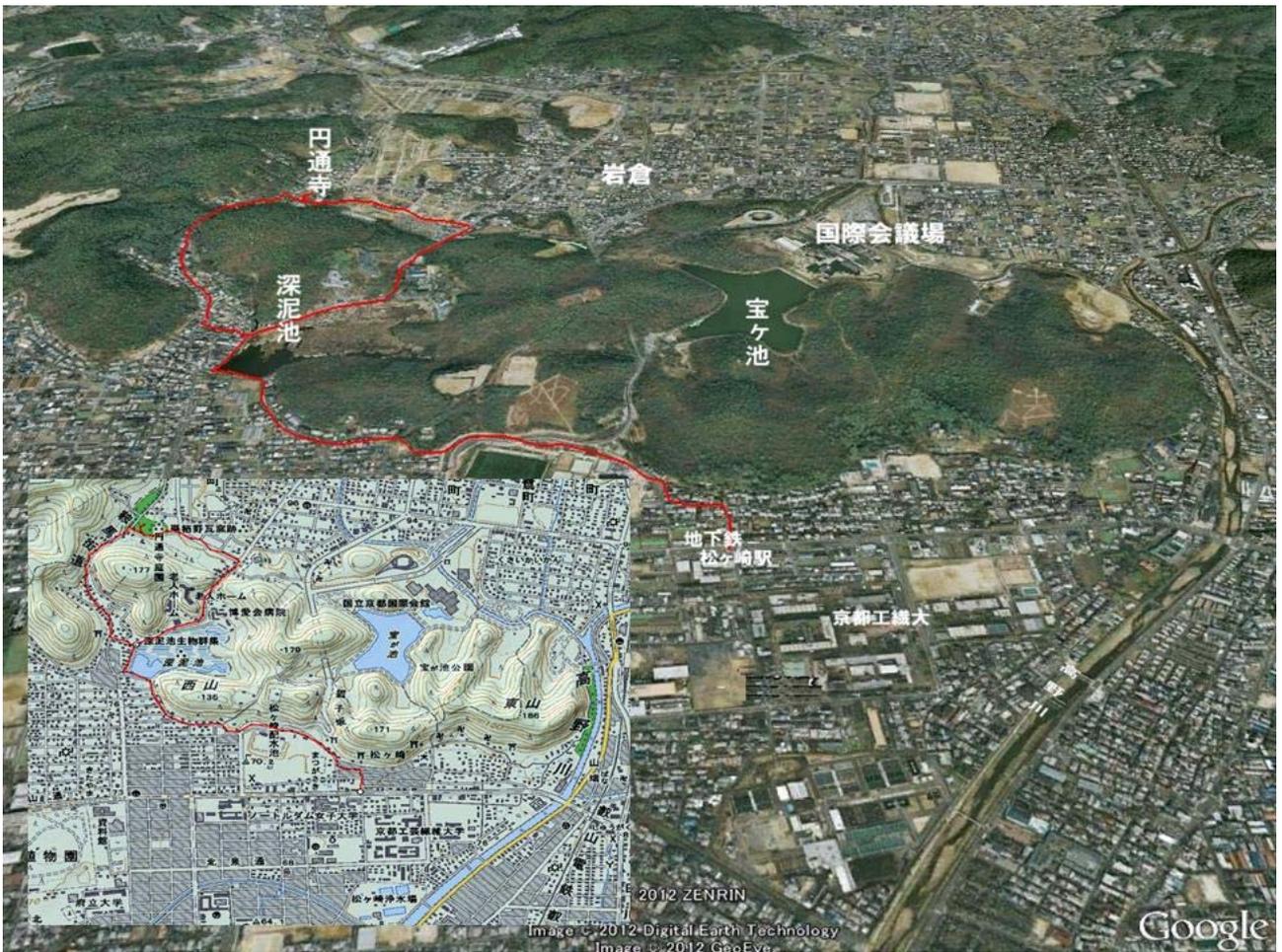
京都 洛北 春Walk 2012.4.13.

静寂な円通寺の庭園へ行きたくなって 深泥池から円通寺へ歩きました



天然記念物 深泥池生物群集の深泥池

比叡山借景の静寂な石庭で知られる岩倉幡枝円通寺



深泥池界隈の春 深泥池から山越して 岩倉の円通寺へ 2012.4.13.



ぶらぶら松ヶ崎の「妙」の山裾を西に歩くと深泥池の縁にある 2012.4.13.



南側にある深泥池の説明板 2012.4.13.

国指定天然記念物

深泥池生物群集

昭和2年6月14日指定 昭和63年12月24日名称変更

深泥池(みぞろがいがけ)は、面積約9ヘクタール、周囲約1.5キロメートルの大きさで、市街地に接する場所に位置しているにもかかわらず、現在でも永河時代以来の動植物が生息する大変貴重な池です。

京都盆地は、気候的には暖温帯に属しますが、この深泥池には、東日本北部の冷温帯に成立するはずの高層湿原が残っているため、西日本に残る数少ない高層湿原として、昭和2年(1927)に深泥池水生植物群落として国の天然記念物に指定されました。また、その後の調査で動物についても稀少なものが多く生息していることが判明し、昭和63年(1988)には、昆虫等の動物も含めた深泥池生物群集に名称が変更されました。

National Designated Natural Monument
Mizogaike Lake and its Wild Life
Designated June 14, 1927
Classification Altered December 24, 1988

Mizogaike Lake covers approximately 9 hectares and has a total circumference of 1.5km. In addition to having an important position in the city it also holds significant value as having been a natural habitat for plants and animals since the ice-age.

While the basin formation of Kyoto city is located in a warm temperate zone, Mizogaike Lake sustains a cool temperate zone similar to upper marshland in North-eastern Japan. As this type of lake is very unusual in Western Japan Mizogaike Lake was designated as a National Natural Monument in 1927, because of its aquatic plant life colony. Since then studies have shown that the lake is also a habitat for rare creatures. As a result of these studies its designation was accordingly altered in 1988 to include other creatures, such as insects, living in the lake area.

◆深泥池の浮島

深泥池の不思議のひとつに浮島があります。池の中央に広がり、池全体の3分の1を占めています。この浮島の下には水の層が厚く、水面に浮いていることが確認されています。浮島は水温や水質の関係で、有機物の分解が遅く、植物の遺体が分解されずに堆積し、その上にミズゴケや種々の植物が成長しています。また、池の底には分解せずに沈んで泥炭となったミズゴケが堆積していますが、その分析の結果、浮島は約14万年前から存在していたことが判りました。この浮島は季節により上下に変動しています。夏は浮かび上がり、冬は沈んで浸水します。冬に浸水する平坦部分(シュレンケ)にはミツガシワやカキツバタ等が成長し、冬に浸水を受けないや高い部分(ビュルチ)にはアカマフ・ネジキ等の樹木が成長しています。

◆深泥池の植物

深泥池に生育する植物の多くは、高層湿原に由来するものであるため、本来は北方系の植物であり、中には、ホロムイソウのように世界的な分布の南限である種類も成長しています。浮島に成長する代表的な種類としては、アゼスウ(花色:白色、花期:4月)、ミツガシワ(白色、4月)、カキツバタ(淡紫色、5月中旬)、トキソウ(淡紅色、5月後半~6月初)、イヌノハナヒゲ(赤褐色、7月~10月)、サワギキョウ(黄紫色、9月後半~10月)や、モウセンゴケやミミカキグサといった食虫植物があげられます。また、浮島周囲の水面(開水面といえます)には、ジュンサイ(紅紫色、6月下旬)、ヒメコクホネ(黄色、6月~10月)や食虫植物のタスキモ(黄色、7月~9月)が成長しています。

◆深泥池の動物

深泥池に生息する動物の代表は昆虫です。中でも、トンボ類は約60種類確認されています。また、全国的にも珍しい種類を含むものとしては、ゲンゴロウやアメンボの仲間があげられます。他にも、ヒメコクホネを幼虫の餌とするミドリズミエガ、ミツガシワの花の蜜を喰うハナダカマダリモンハナアブ等のハナアブ類があげられます。昆虫以外では、水中で生活するミズズモを代表とするクモ類、マゴモ、ヒドリガモ等の老鳥を代表とする鳥類が多く、特に冬場のカモ類は岸辺から肉眼でもよく観察することができます。

◆深泥池を守るために

深泥池では、動植物や、その動植物が生きていくために必要な水質を保護するため、禁止事項を定めていますので、ご協力いただきますようお願いいたします。

- | | |
|--|---|
| <p>動植物を保護するための禁止事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○池や浮島への立ち入り ○植物の採取、動物の捕獲 ○釣り(または釣りのための置き餌) ○外から動植物を池に持ち込むこと ○その他、動植物の保護に支障のある行為 | <p>水質を保護するための禁止事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゴミの投棄 ○鳥類に餌をやること ○採水 ○その他、水質の保護に支障のある行為 |
|--|---|

調査等のために池に立ち入る場合は、文化財保護法に基づく手続きが必要となります。詳しくは京都市文化財保護課(TEL.222-4112)にお問い合わせ下さい。



空から見た深泥池(昭和五年撮影)



ミツガシワ



初夏の深泥池



カキツバタ



マゴモ



ヒメコクホネとタスキモ

冬の深泥池



南側から深泥池 全景 2012.4.13.



正面奥 深泥池 浮島 2012.4.13.



深泥池 高側端 桜ヶ峰への道 2012.4.13.



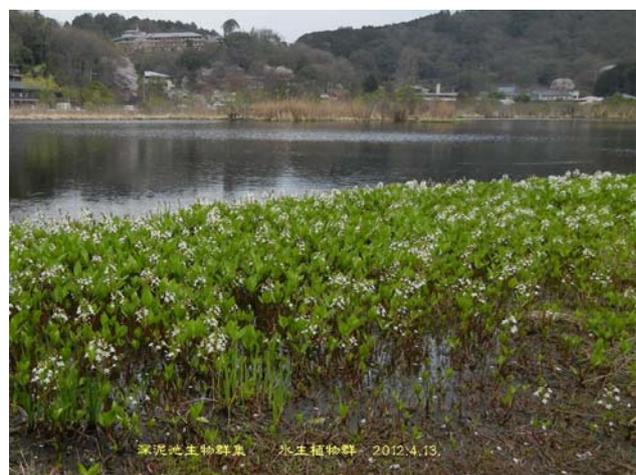
深泥池 西端 幸宮へ抜けてゆくと駿馬街道新道 2012.4.13.



深泥池生物群集 水生植物群 2012.4.13.



深泥池生物群集 水生植物群 葦原 2012.4.13.



深泥池生物群集 水生植物群 2012.4.13.



西北側 鞍馬街道新道からの深泥池 浮島外周帯 2012.4.13.



天然記念物 深泥池 2012.4.13.



鞍馬街道新道の峠を越えて 四通寺のある岩倉峠へ 2012.4.13.



鞍馬街道新道の峠に掛かる地点 振り返ると左手に広大な草原が広がっている 2012.4.13.



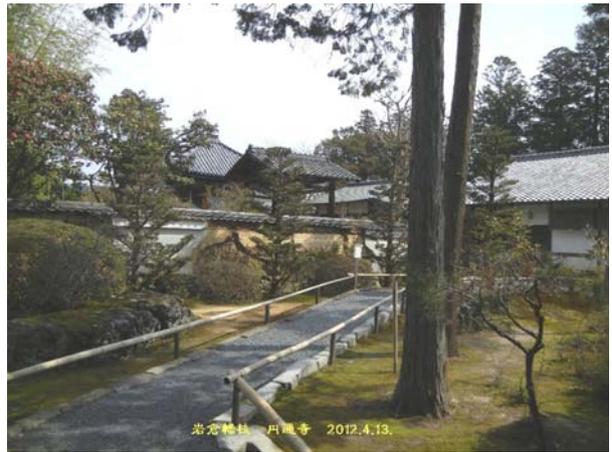
鞍馬街道新道 雨の上管茂 深泥池と共 岩倉 越枝の峠 2012.4.13.



鞍馬街道新道 深泥池と幡枝の峠 幡枝側 2012.4.13.



岩倉幡枝 戸隠寺 参道 2012.4.13.



岩倉幡枝 戸隠寺 2012.4.13.





「都の富士・比叡山」 岩倉幡枝 円通寺で 2012.4.13.



岩倉幡枝の集落から峠を越えて深泥池の集落を抜けて続く旧鞍馬街道 2012.4.13.



また 深泥池の縁に戻ってきました 2012.4.13.

空っ池 旗柱畑のタンポポ 2012.4.13.

空っ池 旗柱畑のタンポポ 2012.4.13.



和ッ峠 深泥池辺原の松 2012.4.13.



京都 洛北 春Walk 2012.4.13.
静寂な円通寺の庭園へ行きたくって 深泥池から円通寺へ歩きました
〔 おわり 〕